



保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定（世界分散型30AL（503））
月次運用レポート

2016年3月

【利用する投資信託の委託会社】ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしていますので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期II型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の月次運用レポート（2016年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2016年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前月末比+3.80%上昇の1,347.20ポイントで終了しました。

月前半は、原油先物価格の上昇や良好な米国の経済指標などから上昇した後、円高・ドル安が嫌気されたことなどから下落する場面もありましたが、上昇基調で推移しました。月後半は、米国での利上げペースが緩やかになるとの見方などにより上昇する一方、国内企業の業績悪化懸念や日銀の追加金融緩和見送りなどにより下落し、一進一退の展開となりました。

業種別（東証33業種）では、インバウンド消費の拡大を背景に業績堅調な「小売業」（前月末比+8.56%）が最も上昇した一方、マイナス金利の影響が懸念される「保険業」（同△1.74%）が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、月前半、原油先物価格の上昇や米経済指標の改善、欧州株式の上昇などを受けて大幅に上昇しました。月後半は、FOMC（米連邦公開市場委員会）後に公表された見通しなどで先行きの米国の利上げペースが緩やかとの見方が強まることなどから上昇した後、ペルギーでのテロなどを背景に下落する場面もありましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）のイエン議長が利上げを慎重に進めるべきと述べ、緩和的な経済政策が続くとの見方が改めて強まることなどから上昇しました。NYダウは、前月末比+7.08%上昇の17,685.09ドルで終了しました。

欧州株式市場は、月前半、原油先物価格の上昇などを背景に上昇した後、ECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和策を決定したものの、ドラギ総裁が追加利下げの可能性は低いとの考えを示したことなどから下落する場面もありましたが上昇基調で推移しました。月後半は、ユーロ圏の堅調な経済指標の一方で、ペルギーでのテロや資源関連株の下落などから揉み合う展開となりました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比+1.28%上昇、仏CAC40が同+0.72%上昇、独DAXが同+4.95%上昇となりました。

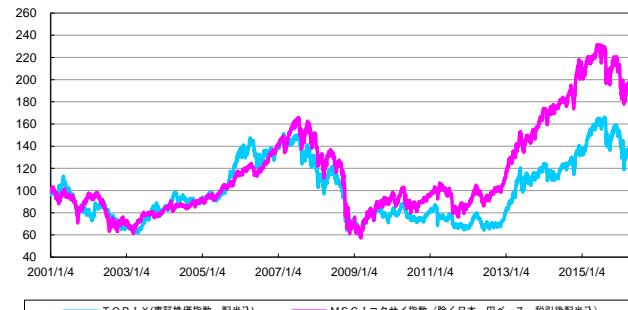
【日本債券市場】

日本債券市場は、月前半、超長期国債への買いが強まる中、△0.1%付近まで金利が低下（価格は上昇）した後は、欧米金利の上昇を背景に一時プラス圏を回復しました。月後半は、日銀の買い入れオペの結果が買い材料視されたことや米国債の利回り低下などを受けて低下した後、月末は上昇（価格は下落）に転じました。新発10年国債利回りは、月末は△0.050%となりました（前月末は△0.065%）。

日銀が一部当座預金にマイナス金利を適用したことを見て無担保コール翌日物金利は、概ね△0.02～+0.00%近辺で推移しました。

日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



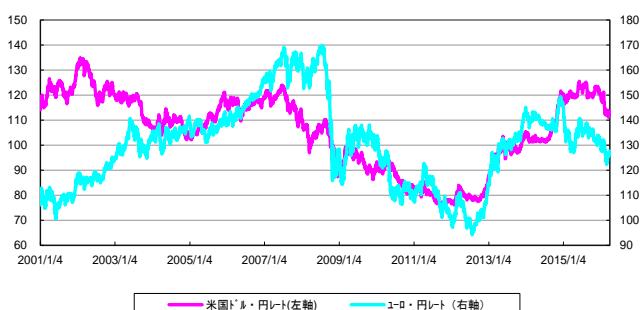
【外国債券市場】

米国債券市場は、月前半、米経済指標の良好な結果やFRBによる利上げ観測が高まることなどを受けて、金利は上昇（価格は下落）しました。月後半は、米地区連銀総裁などが早期利上げの可能性を示唆する発言をしたことなどから上昇する場面もありましたが、米国での利上げペースが緩やかになるとの見方が強まることなどから低下（価格は上昇）しました。米10年国債利回りは、月末は1.769%となりました（前月末は1.735%）。

欧州債券市場は、月前半、欧米株式の上昇などで投資家心理が改善したことやECB総裁が追加利下げの可能性は低いとの考えを示したことなどから、金利は上昇（価格は下落）しました。月後半は、米国での利上げペースが緩やかになるとの見方が強まり、米国金利に連れる形で、低下（価格は上昇）しました。独10年国債利回りは、月末は0.153%となりました（前月末は0.107%）。

FRB（米連邦準備制度理事会）は、FF（フェデラル・ファンド）金利の誘導目標を据え置き、年0.25～0.50%を維持しました。ECB（欧州中央銀行）は政策金利を0.05%引き下げ、年0.00%としました。

外国為替市場の推移



【外国為替市場】

米ドル／円相場は、前月末比94銭円高ドル安の1ドル=112円68銭となりました。月前半、原油先物や株式相場の動向に左右され揉み合う展開となりました。月後半は、FOMC後に公表された見通しなどで先行きの米国の利上げペースが緩やかとの見方が強まることなどから円高が進行しましたが、米地区連銀総裁などが早期利上げの可能性を示唆する発言をしたことなどから、円安に転じました。

ユーロ／円相場は、前月末比3円59銭円安ユーロ高の1ユーロ=127円70銭となりました。月前半、ECB総裁が追加利下げの可能性は低いとの考えを示したことなどから揉み合いながらも大幅な円安となりました。月後半は、米国での利上げペースが緩やかになるとの見方が強まり、ユーロは対米ドルで上昇したことなどから円安基調で推移しました。

出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL:0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期II型）付変額個人年金保険（06）

特別勘定の月次運用レポート（2016年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2016年3月 末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30AL(503)	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券15%、ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券35%、ステート・ストリート外国株式インデックス・オーブン・マザーファンド受益証券15%、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券35%* 基本配分比率とし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 <p>* 当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の35%のうち20%部分について、原則として為替ヘッジを行います。</p>
利用する投資信託	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 当ファンドの主なリスク <ul style="list-style-type: none"> ・価格変動リスク ・信用リスク ・カントリーリスク ・為替リスク 受益証券の分配に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.4をご覧ください)
ステート・ストリート4資産バランス30VA <適格機関投資家限定>	

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2016年3月末	103.95	過去1ヶ月	1.93
2016年2月末	101.98	過去3ヶ月	▲1.90
2016年1月末	104.22	過去6ヶ月	0.23
2015年12月末	105.96	過去1年	▲3.76
2015年11月末	107.05	過去3年	13.59
2015年10月末	106.84	設定来	3.95

- 世界分散型30AL(503)の特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年10月9日)を100.00として計算しております。
- 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30AL(503)	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	11,187,019	99.1
現預金・その他	102,666	0.9
合計	11,289,685	100.0

- 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受け保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL:0120-375-193
アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期II型）付変額個人年金保険（06）

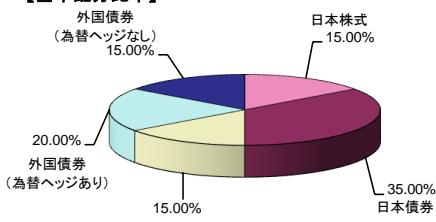
特別勘定の月次運用レポート（2016年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA＜適格機関投資家限定＞の運用状況 [2016年3月末日現在]

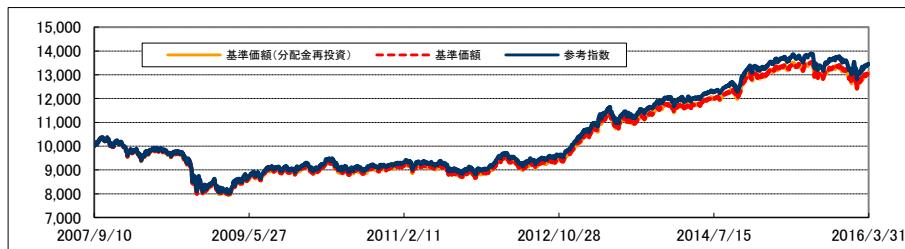
■ファンドの特色

【基本配分比率】



■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA＜適格機関投資家限定＞の設定日（2007年9月10日）を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額（分配金再投資）は、信託報酬（純資産総額に対し、年率0.162%（税抜0.15%））控除後の値です。
- 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
- 参考指標は、TOPIX（東証株価指数配当込み）15%、NOMURA-BPI総合指数35%、MSCIコクサイ・インデックス（円ベース）15%、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）15%、およびシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）20%で組み合わせた合成指標です。

■概況

	2016年3月31日	前月末	前月末比
基準価額	13,051 円	12,777 円	274 円
純資産総額(百万円)	11,187	11,207	▲ 20
	基準価額	日付	
設定来高値	13,530 円	2015年8月12日	
設定来安値	7,954 円	2009年3月10日	

■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなることがあります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	15.00%	6.77%
日本債券	35.00%	15.63%
外国株式	15.00%	6.96%
外国債券（為替ヘッジあり）	20.00%	9.19%
外国債券（為替ヘッジなし）	15.00%	6.44%
短期金融資産	0.00%	55.00%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヶ月	過去3ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.14%	▲1.35%	1.40%	▲1.54%	21.95%	30.51%
参考指標	2.21%	▲1.24%	1.68%	▲1.10%	23.11%	34.39%
差	▲0.06%	▲0.12%	▲0.28%	▲0.44%	▲1.16%	▲3.88%

- ファンドの騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

・下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります（「短期金融資産」を除く）。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	22.41%
アメリカ	10.79%
フランス	1.83%
イギリス	1.72%
イタリア	1.61%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	31.59%
米ドル	6.85%
ユーロ	3.47%
ポンド	1.01%
加ドル	0.38%

・上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL:0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

保証金額付特別勘定年金特約(定期II型)付変額個人年金保険(06)のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしきみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

ご契約者等にご負担いただくこの保険の費用は、次のとおりです。

<積立期間中および保証金額付特別勘定年金(定期)支払期間中にかかる費用>

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費用	ご契約の締結等に必要な費用	一時払保険料に対して 5.0%
保険契約管理費	支払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%
運用関係費	特別勘定の運用等に必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.162%程度 (税抜0.15%程度)*

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- * 運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

<年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行により10年保証期間付終身年金または確定年金を選択した場合の年金支払期間中にかかる費用>

*「年金特約(06)」による年金の支払を行なう場合も同様です。

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%

* 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかる費用の合計額は「契約初期費用」、「保険契約管理費」、「運用関係費」の合計額となります。年金の種類の変更またはすえ置期間付年金への移行等をご選択の場合、他に「年金管理費」がかかります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限られます。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL:0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>